

昭和29（1954）年4月1日、1町3村の編入合併により誕生した八女市。市民の暮らしを第一に発展を遂げ、現在は県内で2番目に広い市となりました。これからも九州の、日本の八女市として羽ばたいていきます。

1 9 5 4

八女市 history

1 9 5 4 ~ 2 0 2 3

- 昭和29（1954）年4月1日／八女市誕生
- 昭和31（1956）年／八女市で福岡県内初となる小学校全校完全給食が実現
- 昭和35（1960）年／矢部村の日向神ダムが完成し、観光遊覧船就航
- 昭和36（1961）年／黒木町、矢部村、星野村の三森林組合で県下初の「八女森林組合共販所」を設立
- 昭和42（1967）年／大島・矢部川間を結ぶ国道3号バイパスが開通
- 昭和43（1968）年／平和の火が完成
- 昭和48（1973）年／九州縦貫自動車道の八女インターチェンジが開設／八女地区県営農地開発パイロット事業完了
- 昭和52（1977）年／「八女福島仏壇」が国の伝統的工芸品に指定／「八女福島の燈籠人形」が国の重要無形民俗文化財に指定／「松延家住宅」が国の重要文化財に指定
- 昭和53（1978）年／北部九州最大の方後円墳岩戸山古墳を含む「八女古墳群」が国の史跡に指定
- 昭和60（1985）年／国鉄矢部線廃止
- 昭和61（1986）年／八女伝統工芸館開館
- 平成元（1989）年／星野村の村制100周年を記念して「九州和太鼓フェスティバル」開催
- 平成2（1990）年／立花町で「第1回立花町観梅会」開催
- 平成3（1991）年／九州最大級の天体望遠鏡を備えた「星の文化館」開館
- 平成5（1993）年／上陽町で「全日本きんま選手権」開催
- 平成7（1995）年／「万灯流し」開始／原爆の火を守る「平和の塔」が星のふるさと公園に建立
- 平成10（1998）年／「べんがら村」が開館
- 平成11（1999）年／「旭座人形芝居会館」が開館
- 平成12（2000）年／「八女津媛浮立館」が開館
- 平成13（2001）年／「八女提灯」が国の伝統的工芸品に指定
- 平成14（2002）年／「八女福島の白壁の町並み」が重要伝統的建造物群保存地区に選定
- 平成17（2005）年／「道の駅たちばな」が開館
- 平成18（2006）年／八女市と上陽町が合併
- 平成22（2010）年／八女市と黒木町、立花町、矢部村、星野村が合併し新八女市誕生／「全国茶品評会」で八女茶は10年連続玉露の部の日本一を達成
- 平成24（2012）年／大韓民国巨済市との姉妹都市協定締結
- 平成25（2013）年／福岡市天神にアンテナショップ「八女本舗」がオープン
- 平成26（2014）年以降はP10より掲載

編入）昭和29年
福島町、川崎村、忠見村、岡山村

八女市誕生

編入）平成18年 上陽町 合併）昭和33年 北川内町、横山村

編入）平成22年

新八女市

黒木町 合併）昭和29年 豊岡村、串毛村、木屋村、笠原村
編入）昭和32年 大淵村

立花町 合併）昭和30年 光友村、北山村、白木村、迎春村

矢部村

星野村

2 0 2 3

c o n t e n t s

八女市、
70周年の飛躍

もくじ

02 「巻頭グラビア」

70周年の八女美

06 「市制70周年特別対談」

黒木瞳さんと語る

10 「70周年のあゆみ」（2014～2023）

写真と年表で振り返る激動の10年

16 第一章「飛」

「広大な八女の地を飛ぶ」

・エリアブランドー八女／黒木／

立花／上陽／矢部／星野／

・地域交流拠点

26 第二章「躍」

「次代を創る八女人の活躍」

・八女茶をつくるー八女茶発祥600年

・安心をつくるー防災／福祉

・ひとをつくるー教育／スポーツ

・賑わいをつくるー地域おこし／市民参画

・伝統をつくるー伝統工芸

38 八女の著名人

40 八女市の未来へ（議会議長・市長こあいさつ）

Y A M E C I T Y
A n n i v e r s a r y

70